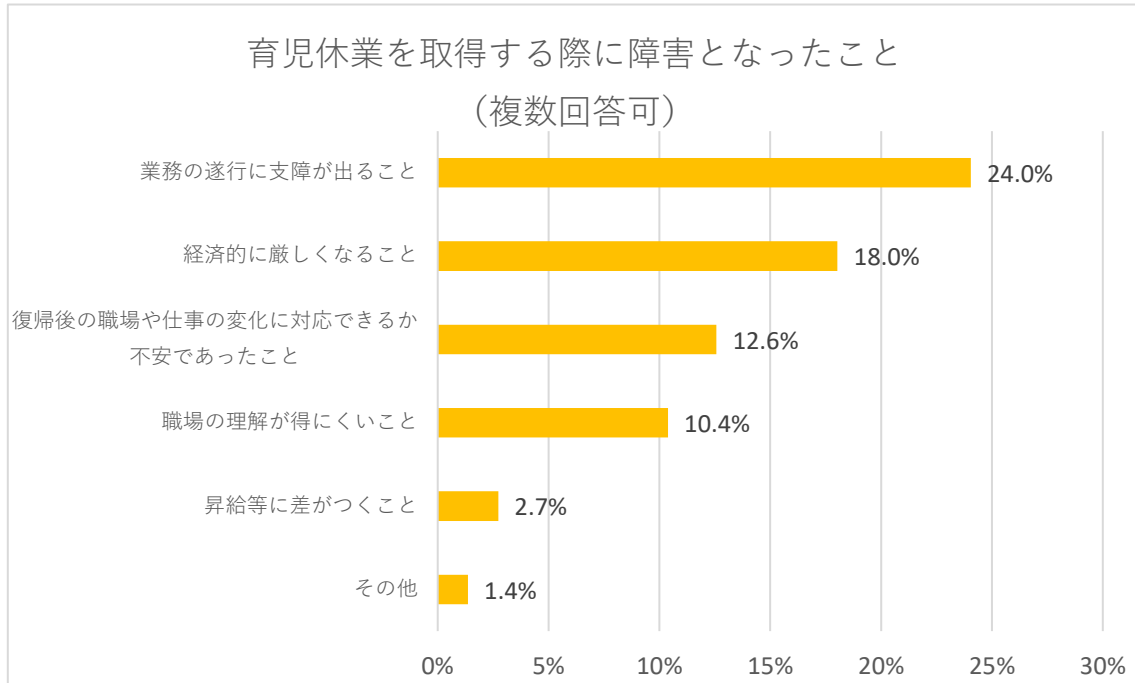


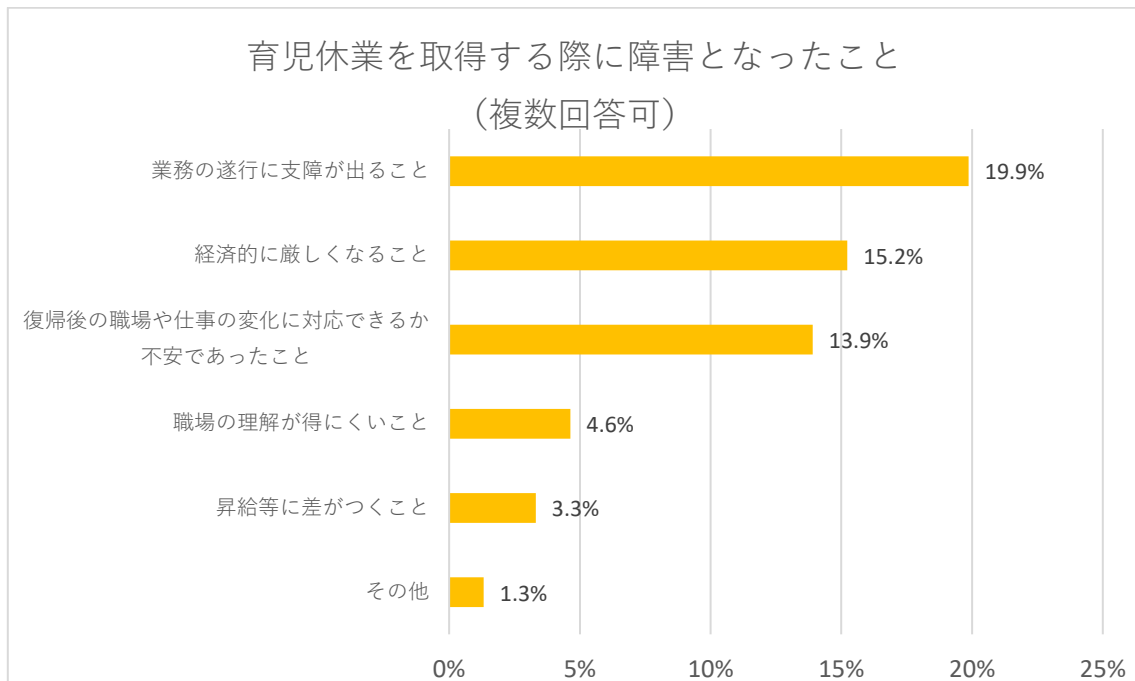
第3次庄原市特定事業主行動計画
職員アンケート結果 抜粋

■ P 5 ～ 6 ①育児休業取得率

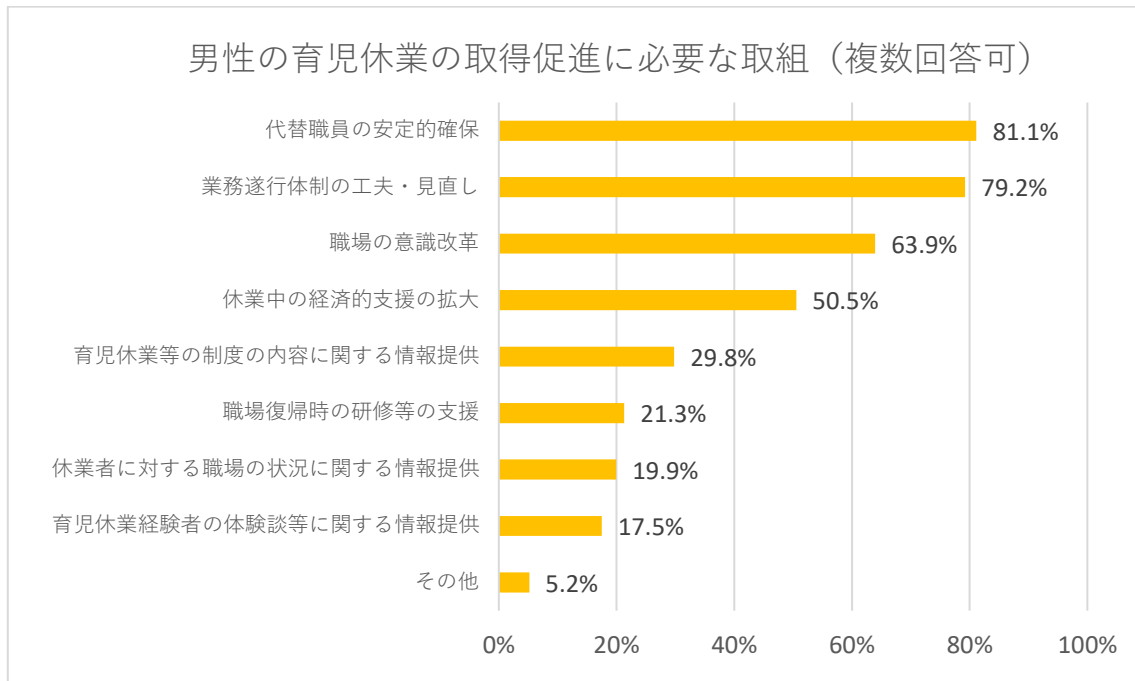
【市職員・病院職員】



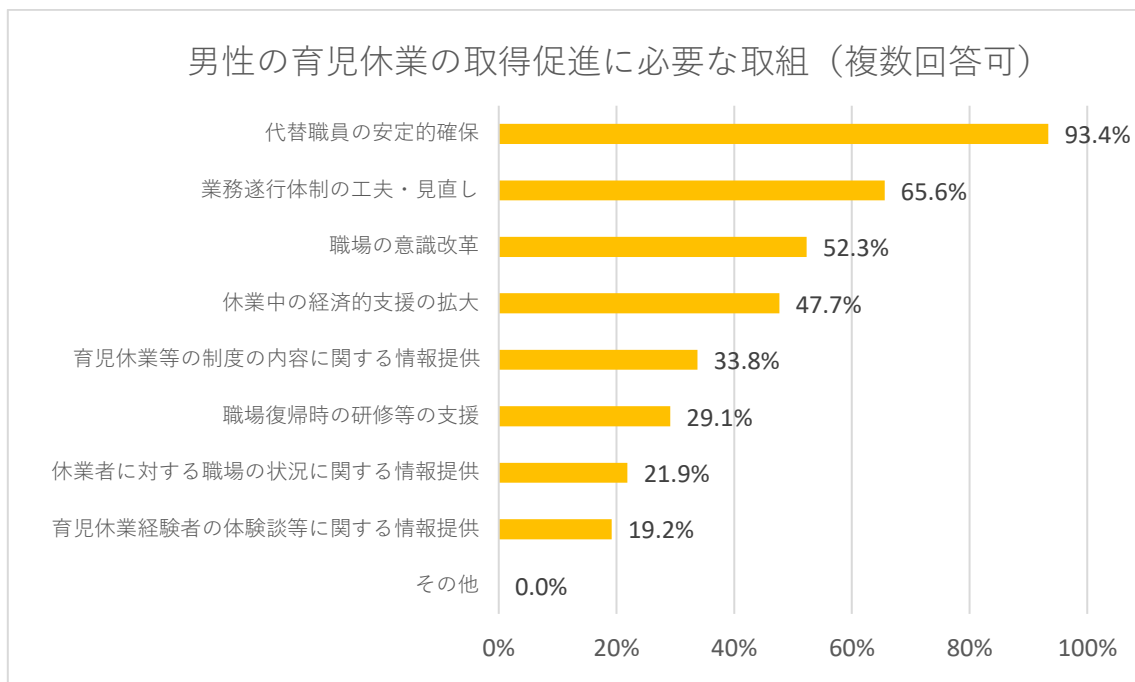
【教職員】



【市職員・病院職員】



【教職員】



【市職員・病院職員】

〈育児休業復帰時に困ったことや苦労したこと等（抜粋）〉 ■：男性 ◇：女性

◇休業中の職場の状況や情報提供がない。

◇子どもの体調不良等で休みをもらうことが多く、有給休暇の残数や業務が気になった。

◇ログインパスワードさえ、覚えていなかった。メールもいっばいで受信できず、休業中に変わった全庁的な仕組みも分からなかった。

◇システムの使い方が分からなくなる。

◇復帰後異動があり、職場環境、業務が変わったこと。

■長く業務を離れたため、業務内容を把握するのに苦労した。再び仕事をする生活習慣に慣れること、業務内容を覚えること、職場の人との人間関係など、復帰直後の精神的な負担があった。

◇育児休業を取得したことに対する目が厳しく、復帰後の雰囲気が悪く辛い思いをした。

■自分の業務は全く手つかずの状況だった。挽回するための時間外が増え、復帰後はあまり育児ができなかった。

【教職員】

〈育児休業復帰時に困ったことや苦労したこと等（抜粋）〉 ■：男性 ◇：女性

◇仕事と育児の両立が難しい(睡眠時間が確保できなかった)

◇業務内容が新しく変わったことによる研修の機会がない。

◇業務量の軽減がないままの復帰だったため、子育ての時間の確保が難しかった。合わせて、家族の負担が増えた。

◇3年間の育休中に業務のシステムや制度などが変化していることに対応することが難しかった。また、それらを研修によって補うということになると、時間的・精神的な負担があった。

◇子供の体調不良等で休みを取らせてもらった時に、職場に迷惑をかけてしまっていると申し訳ない気持ちになった。

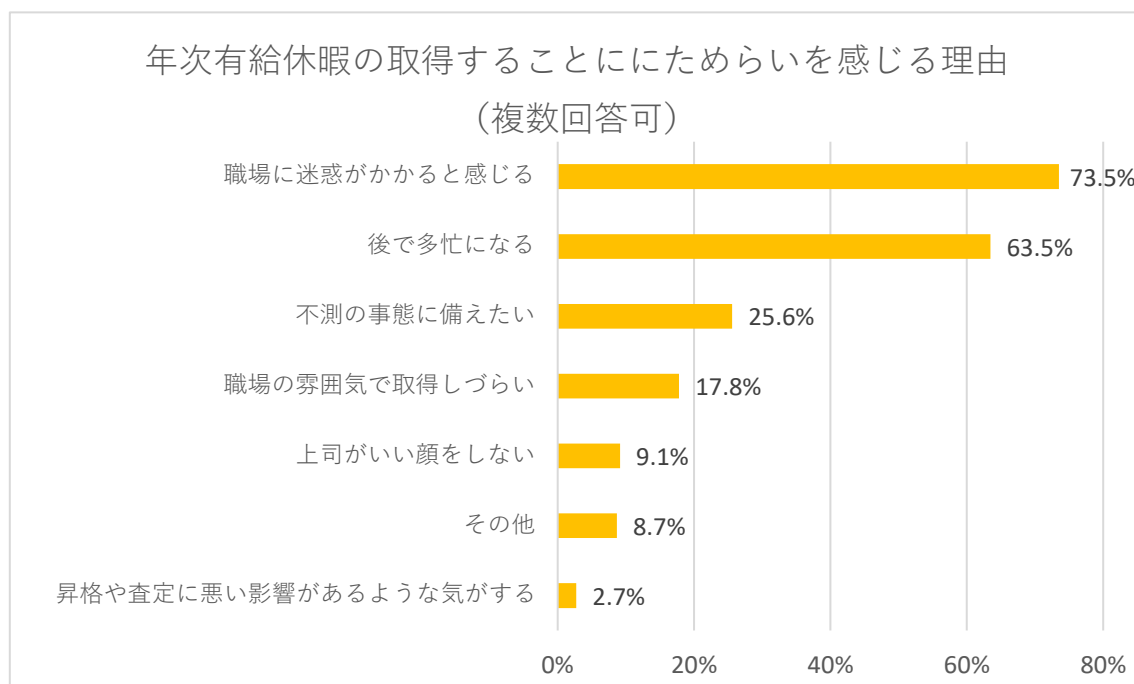
◇子供が体調をよく崩すが、特休15号(10日)と年休しかないため、自分の体調不良や家族に何かあったとき年休が足りず、休むことができなくて苦労した。

◇1人職のため、前任者に聞くことが難しい。

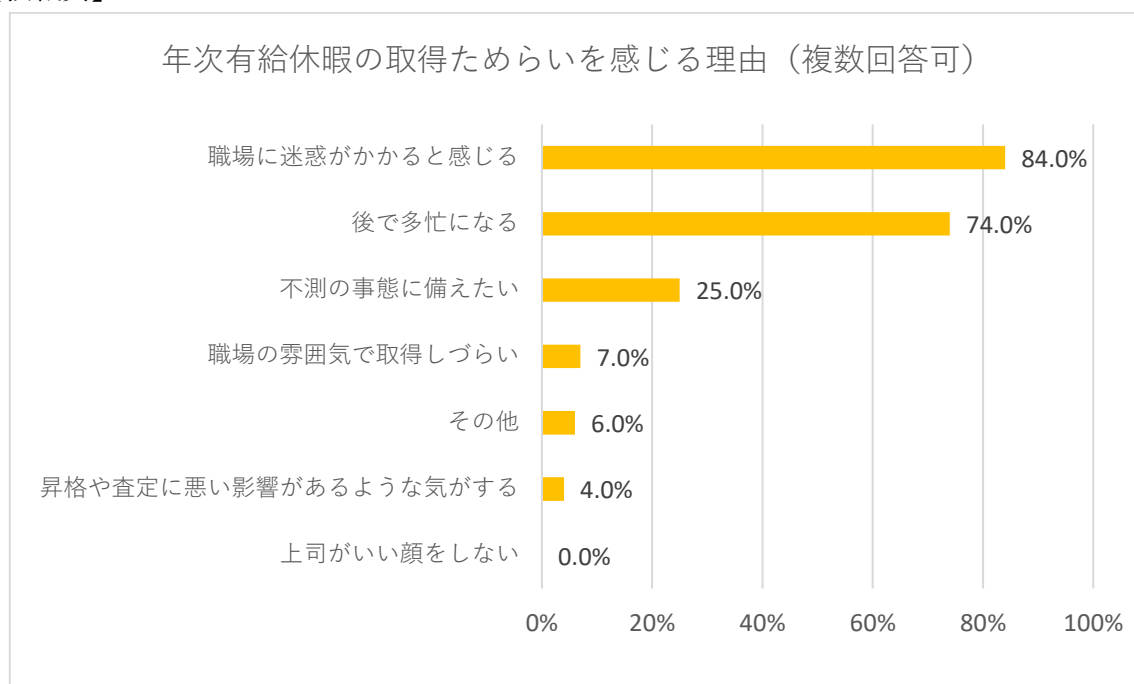
■育休中にできなかった仕事を誰かが代わりにできるものではないのが教職員の仕事なので、復帰後のしわ寄せが多かった。

■ P 8 ～ 9 ③各種休暇の取得率

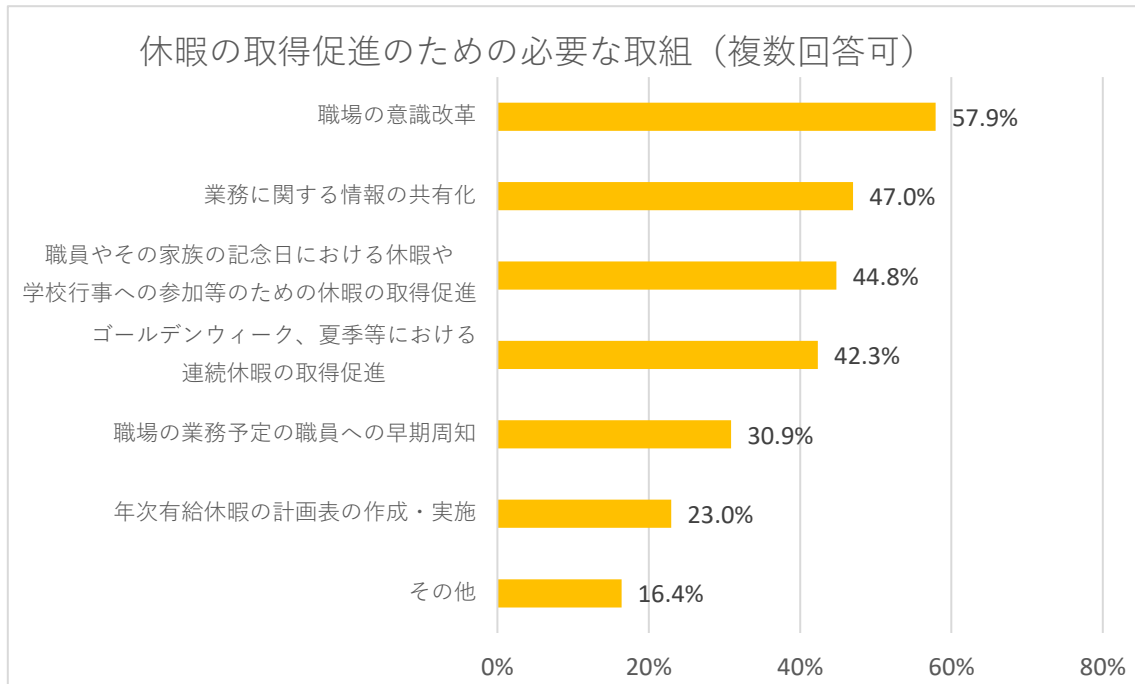
【市職員・病院職員】



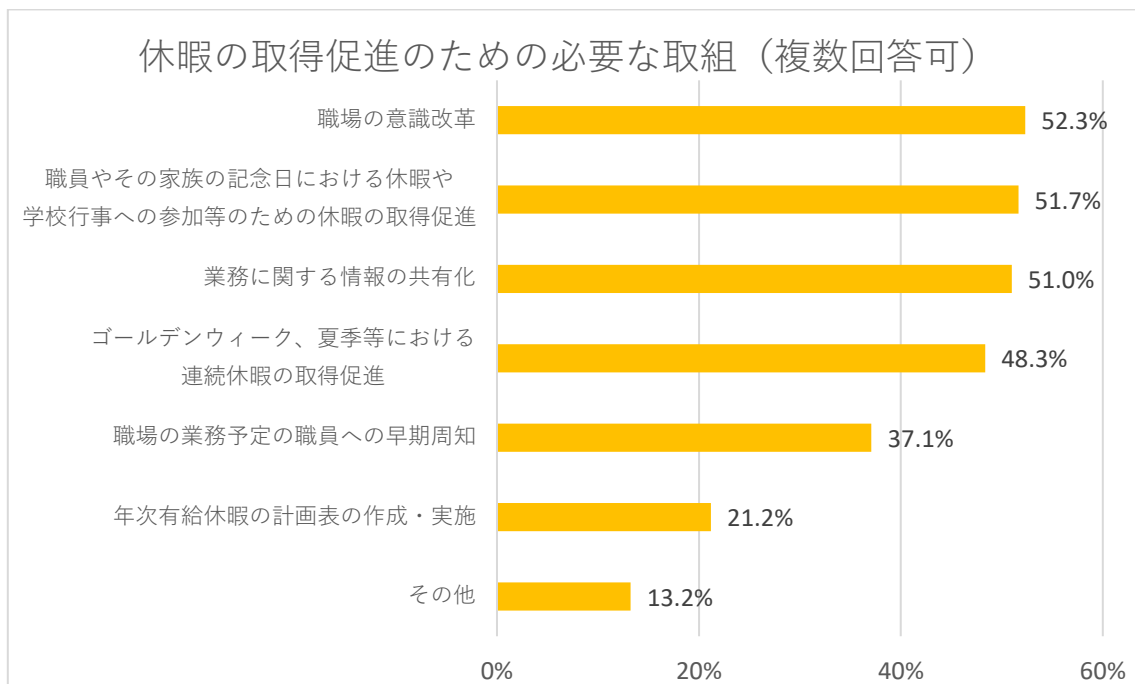
【教職員】



【市職員・病院職員】

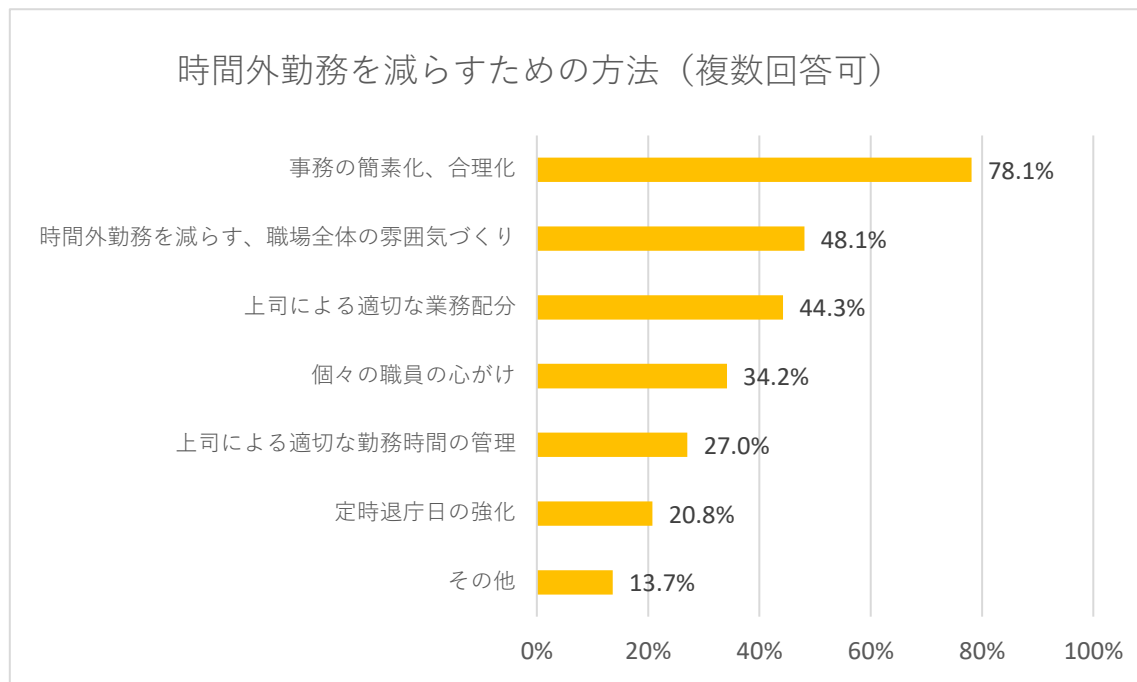


【教職員】



■ P10 ④職員一人1月あたりの時間外勤務（超過勤務）時間数・勤務時間外在校時間数

【市職員・病院職員】



【教職員】

